



環境保全や環境教育など、環境に関する活動は応募対象です。

SUSTAINABLE GOALS DEVELOPMENT



地域で様々な環境活動を積極的に行っている市民、企業等の皆さんを表彰する「横浜環境活動賞」は平成5年度から開始し、今年度、第30回目を迎えます。これまで、359者（市民の部188者、企業の部122者、学生の部49者）の皆さんを表彰してきました。今年度は3年ぶりに、選考時の審査委員会（プレゼンテーション・質疑応答）※を再開し、皆さんの活動における熱い思いを直接お話いただく機会を設けます。

環境にやさしい活動をしている皆さんのご応募をお待ちしています！

※新型コロナウイルス感染症の今後の状況により変更する場合があります。

募集期間：令和4年11月16日（水）～12月26日（月）

※審査委員会（プレゼンテーション・質疑応答）令和5年2月16日（木）

【「横浜環境活動賞」とは】

地域で様々な環境活動を積極的に行っている市民（個人・団体）、企業、児童・生徒・学生の皆様を表彰する制度です。これにより、環境に対する関心をより一層高めていただくとともに、地域の環境活動を推進します。

<横浜環境活動賞ホームページ>

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/katudo/katsudosho/>

横浜環境活動賞

検索

裏面あり(応募対象等詳細)

【応募対象】

活動期間が概ね3年以上あり、将来にわたり継続する見込みのある次の方が対象です。
詳細はホームページをご確認ください。

- 横浜市内で環境活動を行っている個人・団体（または団体の本拠地を横浜市に有するもの）
- 市内企業（法人・組合等）
- 主たる環境活動を横浜市内で行っている児童・生徒・学生の団体

【応募方法】

応募用紙等をホームページ（横浜環境活動賞 募集概要）からダウンロードし、郵送またはEメールでご提出ください。

横浜環境活動賞 募集概要

検索

【表彰内容】

- 部門 「市民の部」「企業の部」「児童・生徒・学生の部」
- 表彰の種類
 - 【大賞】各部門からそれぞれ最も顕著な環境活動を行っている1者を表彰
 - 【実践賞】顕著な環境活動を行っている者
 - 【生物多様性特別賞】全応募者の中から生物多様性の保全・再生・創造に特に貢献している1者を表彰

【選考方法】

学識経験者などで構成する「横浜環境活動賞審査委員会」が選考します。

<内容>

書類要件の確認、審査委員会（プレゼンテーション・質疑応答 計10分程度）

<今後のスケジュール>

時期	内容
令和4年12月26日（月）	「横浜環境活動賞」募集締め切り ※応募書類等受領後、受領メールを差し上げます。
令和5年1月中旬	書類要件の確認
令和5年2月16日（木） （予定）	審査委員会（プレゼンテーション・質疑応答） ※審査委員会のご参加については別途調整させていただきます。
令和5年2月下旬～4月頃	表彰式

【その他】

- ・受賞状況により、国の表彰制度への推薦候補者になる場合がございます。
- ・受賞された取組についてホームページやパネル展示等で紹介させていただく予定です。

<参考> 第29回横浜環境活動賞 受賞者（大賞 3者、実践賞 10者、生物多様性特別賞 1者）

部門	受賞者等
市民の部	（大賞）ヨコハマ海洋市民大学 （実践賞）海藻おしば協会 神奈川支部、KAZOO、 認定特定非営利活動法人神奈川海難救助隊、早渕川ファンクラブ、 特定非営利活動法人もあなキッズ自然楽校、特定非営利活動法人わかば
企業の部	（大賞）株式会社REJ 横浜事業所 （実践賞）日産自動車株式会社 テクニカルセンター
児童・生徒・学生の部	（大賞）神奈川県立瀬谷西高等学校 （実践賞）横浜市立富岡中学校 科学部、横浜市立羽沢小学校、 Beeぐみプロジェクト
生物多様性特別賞	早渕川ファンクラブ

お問い合わせ先

環境創造局政策課環境プロモーション担当課長 安藤 成晃 Tel 045-671-3830